前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

r. (注)	にま	507	() () () () () () () () () () () () () (<i>1</i>	(注)	にあっ	ては主た	ス重業部	の訴え	字)
氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-0903												
名 株式会社 源吉兆庵 所 岡山市北区幸町7-28												
本票作成	部計	署名	:総務部									
主たる業	種	分類 コー	1 09 業種名:	食料品	製造業							
事業の 概 要	菓-	子製	生									
	番	:号 工場等の名称					所 在 地					
	(1	① 藤田工場				岡山市南区藤田564-229						
県内の	2	② 東岡山工場					岡山市中区長岡4-45					
主な	(3) <u>4</u>	* 未尾工場				岡山市		未尾2658			
工場等	(4) 7	 k社				岡山市	市北区⋾	幸町7-28			
			· ·									
		+										
特定事業	<u>;</u> ≠∠	\[\sigma\)		500k0Pl	F □ ②n z	トラック	100台	タカシーク	50台以上	□ 3rd	。換質3	- 000+D/F
付足事業 の該当要			工場等の数		4 所)該当の場		/21 759F 0	台)
1,2 1 - 1,2 1	` ' '	()	工物 守 少 妖		1/1		井門 口	数 (色		/ ப /		П/
温室効果な	jス	基準	年度(平成 28	年度)	(平成	29)年度	排出量	目標生	F度(平	成 3	3 年度)
排出量			6,761 t	CO_2			6, 485	t CO ₂		(6, 422	t CO ₂
		番号	· 工場	場等の名	称			(平成	33)	年度排品	出量	
		1	藤田工場							6	2, 549	t CO ₂
		② 東岡山工場					2, 424 t CO ₂					
主な工場の排出量		等 ③ 妹尾工場				1, 123 t CO ₂						
	` [4	本社								386	t CO ₂
												t CO ₂
	Ī											t CO ₂
		31 -	- II.n DD	₹.1 5		•		. . N o		,		
 削減目標	ĺΦ			Z成 29		~			3 年度	(箇年度)
達成状況		L	2 総排出量基準	(29)年度問	川減実)	積		削減率		目標達	
		L	」原単位基準		4. 1	%		5.	0 %	□ 達原	文	☑ 未達
(原単位基 の削減目標	-`%#±	温室	効果ガスの排出量と	密接な関係	系をもつ値の内	习容			原単位当た	り排出量		
							基準年	F度	(29)年度	目才	標年度
選択してい 場合に記入												
	())					$C0_2/($ $)$ $C0_2/($ $)$ $C0_2/($ $)$					
(該当事業	美者の	りみ言	2入)									
ベンチマー	-ク	Ż	対象事業の名称	~	ベンチマーク	か指標		関連数	效値(平成	29	年度)	達成率等
指標の状	況											
【削減状												
・平成29年2月に愛媛県宇和島市に新工場を竣工しており、岡山県内の既存工場での生産量の分散 化、さらには効率化により、エネルギー消費量、ガス消費量、電気消費量の削減となった												
114、26	1 - 13	ょタ灱≧	₽1℃により、エネ	ハンキー	月貨軍、刀	へ消質	重、電	包风用复	で重切削海	はとはつ	に	

ľ	推進	休	出	١
1 1	压力出	744	וינח	1

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している
- ・デマンド電力の監視により、デマンド電力を抑制している

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施	fiした措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
工場等の名称 東岡山工場 藤田工場、妹尾工場、東岡山工 場、本社	

-			
\mathbb{Z}_{++}	$\sim 200 \mathrm{mm}$	四海 対策へ	
	T W	11 A NB AVI 143 4 7	、(/) H V 金口

■ × p× 1 × 1 1 F 1 ×		C D < [0.10] 10 10 10 10 10 10 10 1
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる
- ・本社にて、エレベーターの 【2UP 3DOWN】運動の推進
- ・【ノー残業DAY】の推進、および、定時時間を考慮したパソコンの自動シャットダウンによるパソコンや照明および空調電力の削減